

新松田駅周辺地域まちづくり協議会

日 時 平成28年11月29日(火)

午後3時30分から

場 所 松田町役場4階 4AB会議室

新松田駅周辺地域まちづくり協議会

次 第

1. これまでの経緯報告
2. 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画の
策定について
3. これまでの検討を踏まえた
駅周辺地区のまちづくりの方向
4. 今後の進め方

1. これまでの経緯報告

(1) 第1回商工観光部会の開催

(2) 第1回交通部会の開催

(1) 第1回商工観光部会

日時:平成28年4月27日(水)午後7時から8時半

場所:松田町役場1階 1B会議室

出席者数: 14名(商業:5名、工業:1名、観光:2名、県:1名、町:5名)

〔協議内容〕

1. 商工観光部会の主旨について
2. 町民アンケートの結果について
3. 松田町の現状と将来について
(ワークショップ形式での意見整理)
 - ・新松田駅周辺または松田町の「良いところ」・「悪いところ」について
 - ・新松田駅周辺または松田町の「なりたい未来」・「なりたくない未来」について

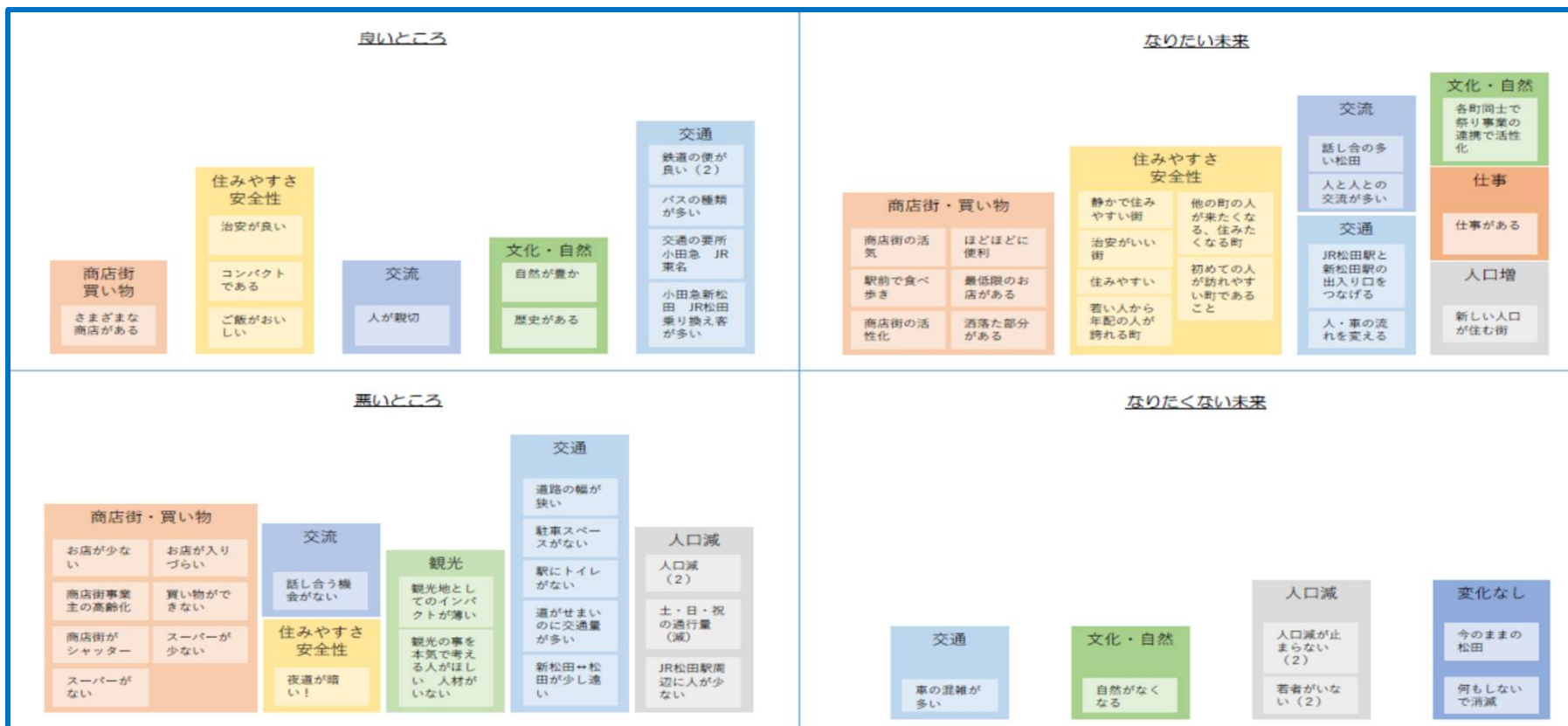


商工観光部会における各班での意見(1班)

良いところ：①交通利便性の良さ、②住みやすさ・安全性

悪いところ：①買い物の利便性、②交通環境

なりたい未来：利便性・安全性の高い「誰もが住みたくなるまち」

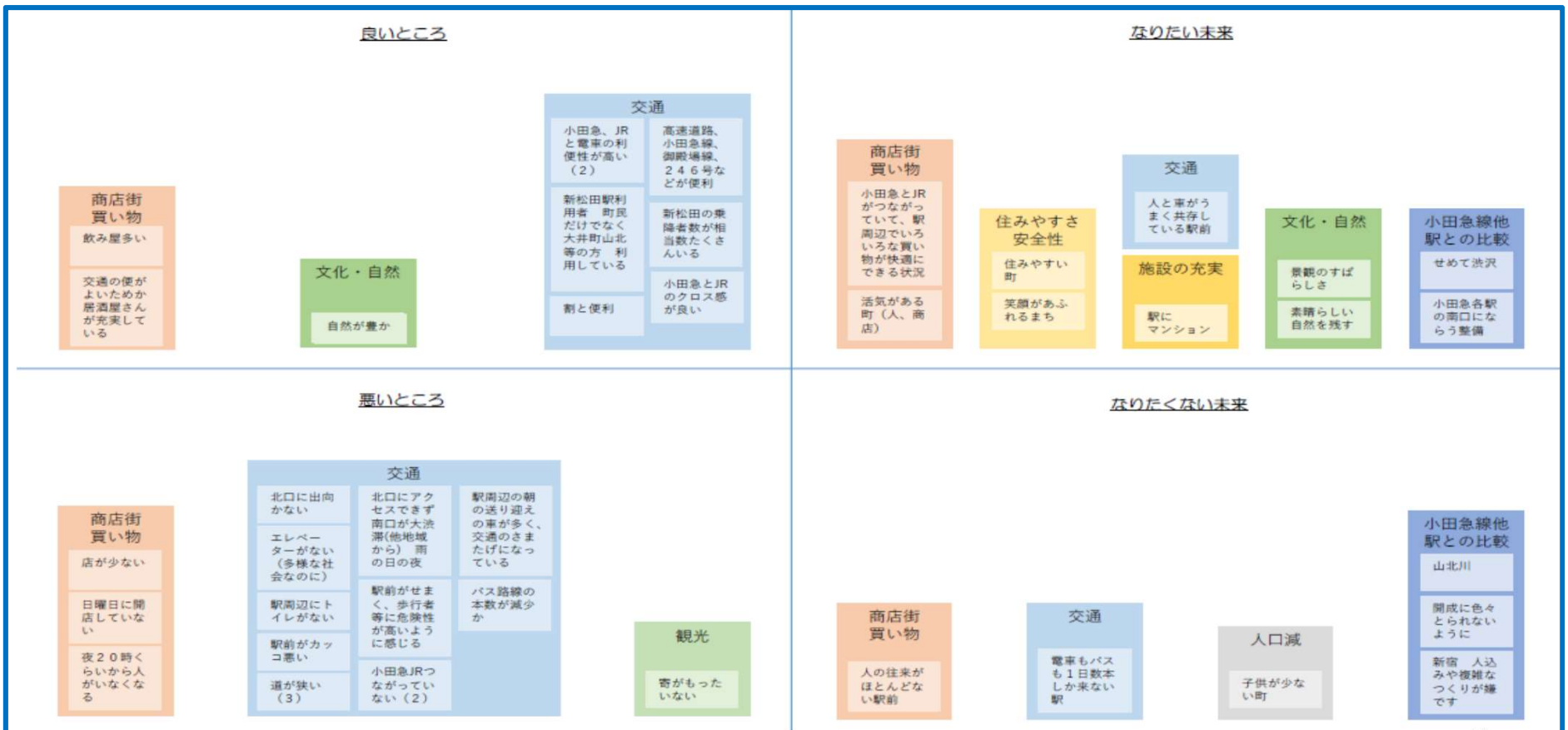


商工観光部会における各班での意見(2班)

良いところ：①交通利便性の良さ

悪いところ：①交通環境、②買い物の利便性

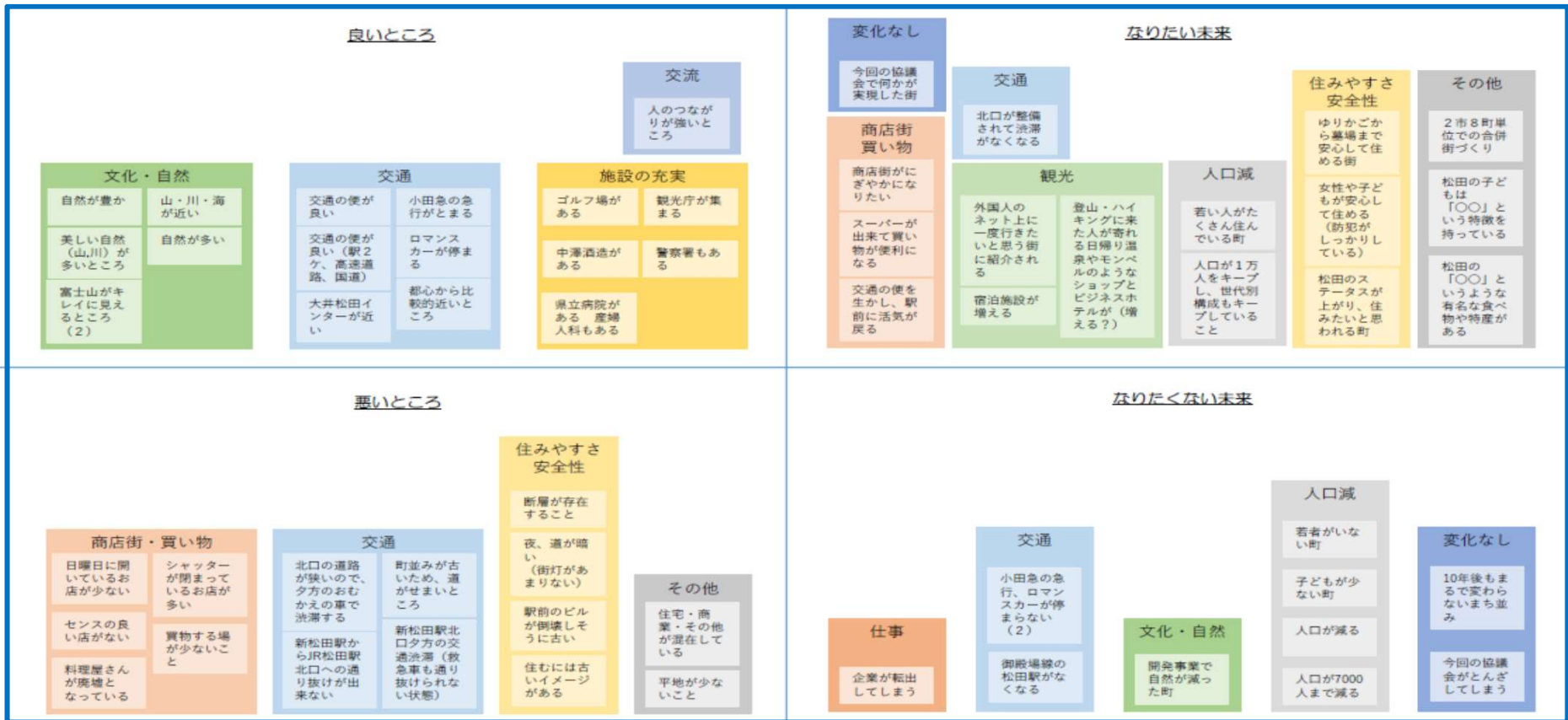
なりたい未来：駅周辺が充実し「活気のあるまち」



商工観光部会における各班での意見(3班)

良いところ：①交通利便性の良さ、②自然の豊かさ、③地域内施設の豊かさ
 悪いところ：①交通環境、②買い物の利便性

なりたい未来：「安心して定住でき、来街者も多い活気あるまち」



(2) 第1回交通部会

日時:平成28年10月7日(金)午後1時半から3時

場所:松田町役場4階 4A会議室

出席者数:11名

(鉄道(小田急電鉄(株)、東海旅客鉄道(株)各1名)、バス(富士急湘南バス(株)、箱根登山バス(株)各1名)、タクシー(松田合同自動車(株)、箱根登山ハイヤー(株)各1名)、神奈川県県西土木事務所1名、松田警察署1名、市3名)

〔協議内容〕

1. 道路・広場の交通上の現状と問題について
2. 新松田駅周辺における交通広場やアクセス道路の整備にあたっての交通事業者からの問題及び要望について
3. その他(改善点についての提案)について

第1回交通部会での主な意見

〔駅前広場について〕

- 南北に駅前広場があるのだから、南北の機能分担や各々の役割検討が必要

〔駅の南北口の連携について〕

- 自由通路など歩行者が鉄道に関係なく南北を行き来できる仕組みの構築が必要

〔その他駅前での改善点について〕

- ガード下から新松田駅への角の視認性の悪さ
- 迎いの車両の違法駐車
- 南口でのタクシー利用の促進

2. 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画の 策定について

新松田駅周辺整備基本構想・基本計画策定の目的

【基本構想・基本計画策定の目的】

小田急線新松田駅及びJR御殿場線松田駅周辺地域において、駅前広場及びアクセス道路、その周辺街区の再編等に関する基本構想・基本計画を、関係者等の意見を踏まえ作成し、まちの玄関口としてふさわしい交通結節機能及び商業交流機能の充実を図ることを目的としています。



今年度(平成28年度)より『3か年』で基本計画を策定！

整備基本構想とは・・

- 基本構想は、地区の目指すべき方向の実現に向けて、整備方針や整備内容、実現方策を検討・整理するとともに、整備対象とする区域を設定するものです。

【基本構想で整理する事項】

- ① 地区の目指すべきまちづくりの方向(将来像)
- ② 実現に向けた方針:土地利用、都市基盤、商業活性化等
- ③ 基本構想
 - ・土地利用構想(土地利用ゾーニング)
 - ・施設整備構想(道路、駅前広場、商業施設、自由通路、修景施設等)
- ④ 実現方策(事業手法、整備対象区域等)

整備基本計画とは・・・

- 基本計画は、基本構想で設定した区域において、実現に向けた具体的な整備計画を策定するものです。

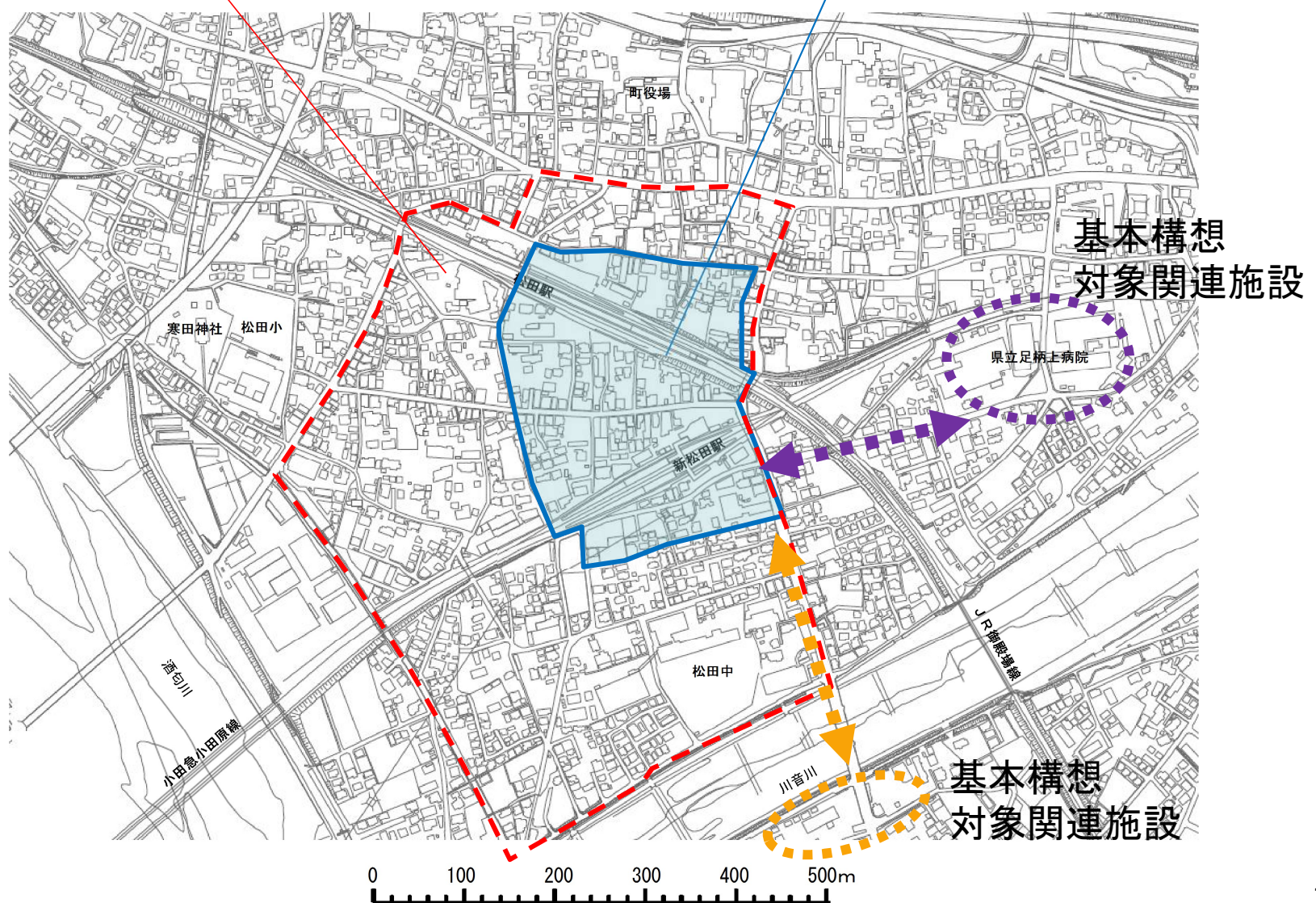
【基本計画で整理する事項】

- ① 計画条件
- ② 基本計画
 - ・主要施設配置計画(駅前広場、道路、商業施設等)
 - ・主要施設整備計画(駅前広場、道路、公共駐車場、自由通路、商業施設、等)
- ③ 事業化計画・年次計画

対象範囲

基本構想検討対象範囲

基本計画対象範囲



策定スケジュール(予定)

【平成28年度】

○基本構想の策定

- ・地域のあるべき将来像
- ・まちづくり基本方針
(土地利用方針、都市基盤整備方針、商業活性化の方針)
- ・土地利用構想(土地利用ゾーニング)

【平成29～30年度】

○基本計画の策定

- ・庁内や関係機関との調整、住民合意を図り、基本計画を策定

【平成31年度～】

○実現に向けた取り組みを展開

3. これまでの検討を踏まえた

駅周辺地区のまちづくりの方向

(1) 駅周辺地域のまちづくり方向

駅周辺地域のまちづくり方向(松田町第5次総合計画、H27.3より)

【空間形成の方向】

(まちなかふれあいゾーン)

- 駅や商店街などを中心にして**楽しく歩けるまちづくり**(特徴的な店舗や歴史的資源などの連携・回遊)を検討

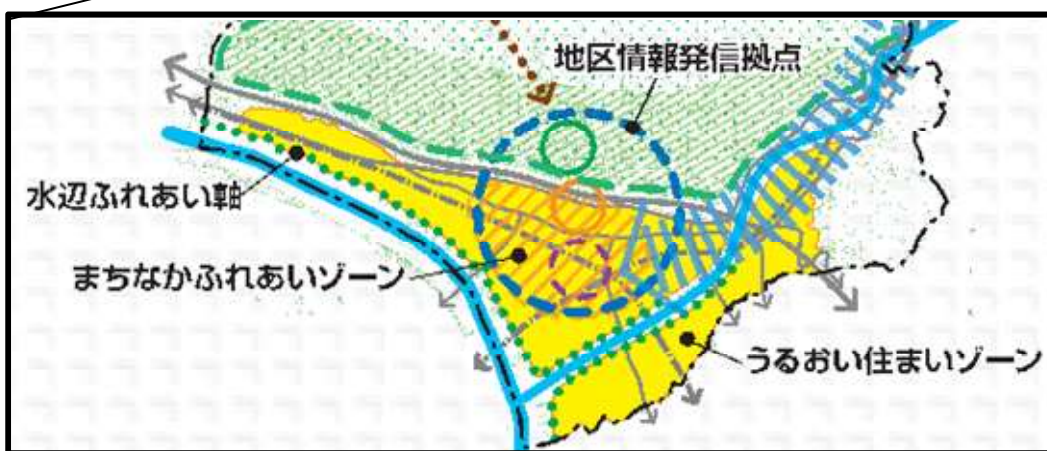
(地区情報発信拠点)

- 町や地域などの**様々な情報を受発信する場**

(駅周辺地区)

- 交通結節点としての立地特性を活かした広域的な玄関口としての機能を高め、**町の中心市街地として都市機能の向上と魅力を創出**

凡 例		
[ゾーン]	[拠点]	
○森林地域	地区情報発信拠点	
■ 保全ゾーン	[軸]	
■ 森林レクリエーションゾーン		地区連携軸
■ 森・清流文化の里ゾーン		森林ふれあい軸
○まち地域	水辺ふれあい軸	
■ まちなかふれあいゾーン		
■ うるおい住まいゾーン		



(2) 駅周辺地区の機能と役割

【整備課題】

- ① 便利で魅力的な中心市街地としての商業・業務機能の集積
- ② 駅前広場内の施設（交通機能、環境機能、防災機能）の適正規模の再配置
- ③ アクセス道路における円滑かつ安全な交通処理
- ④ 松田町の玄関口としての情報発信機能の充実
- ⑤ 商店街や歴史的資源、魅力的な街並みを活かし楽しく歩けるまちづくり



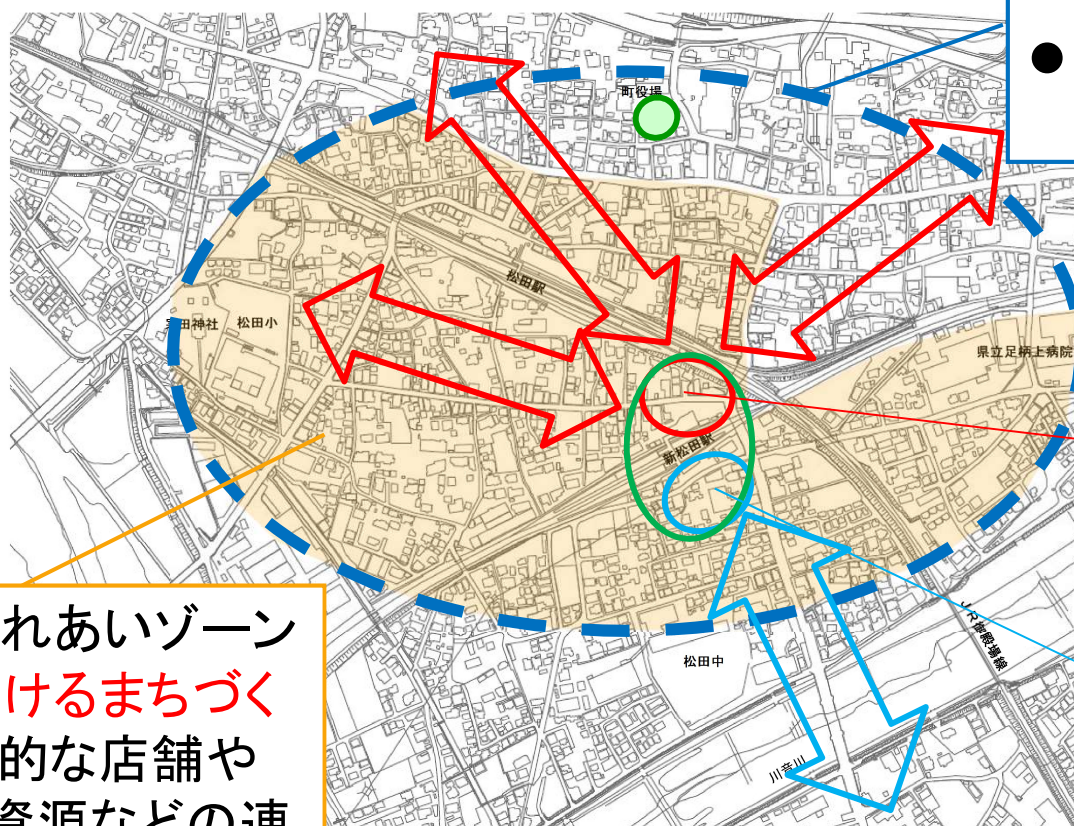
【駅周辺地区の機能と役割】

- 交通結節点に関わる交通の円滑化（整備課題②、③）
⇒ 公共交通による移動全体のサービスレベルの向上
- 交通結節点の拠点性の向上（整備課題①、④、⑤）
⇒ 都市の再生・再構築（まちづくり）の中心核

(3) 駅周辺地区のまちづくり方向の考え方

足柄上地区の玄関口

賑わい・活力を生み出すまちづくり



地区情報発信拠点

- 町や地域などの様々な情報を受発信

足柄上地区の玄関口

町内・観光エリア
への玄関口
として機能

町内・大井町方面
への玄関口
として機能

まちなかふれあいゾーン

- 楽しく歩けるまちづくり(特徴的な店舗や歴史的資源などの連携・回遊)

駅周辺地区のまちづくりの検討イメージ

〔まちづくり方針〕

〔検討内容〕

〔検討の具体例〕

〔検討部会〕

足柄上地区の玄関口 賑わい・活力を生み出すまちづくりの実現

【駅周辺地区まちづくり将来像】

- ① 交流・活力を促進する交通拠点の形成
 - ・足柄上地区の玄関口にふさわしい交通拠点の形成
- ② 魅力・賑わいの創出
 - ・交流・活力の拠点として機能する駅周辺での魅力・賑わいの創出
- ③ 安全・安心なまちの形成
 - ・住民・来街者が安全・安心に行き来し、暮らせるまちの形成
- ④ 環境・景観・地域資源を活かしたまちづくり
 - ・豊かな自然環境・景観・地域資源を活かした基盤形成
- ⑤ ITの高度化に対応した施策の展開
 - ・情報技術の高度化に対応した利便性の高いまちづくり

- 1) 駅前広場、駅舎の整備
- 2) 駅前広場へのアクセス道路
- 3) 交通のシームレス化
- 1) 駅周辺への機能導入・土地利用
- 2) 駅前広場整備に合わせた施設整備
- 3) 空家・低未利用地の管理
- 1) 歩行者の安全性確保
- 2) ユニバーサルデザインに配慮した空間形成
- 1) 地域資源を活かしたまちづくり
- 2) 自然環境・景観に配慮したまちづくり
- 3) 回遊路の形成
- 1) 発信情報の整備
- 2) 観光等情報の受発信システム

- ・北口・南口の役割と駅前広場の整備内容（車両空間、歩行者空間、付帯施設、修景施設、駐車場など）、駅南北自由通路の設置
- ・円滑な車両通行を可能とする駅前広場へのアクセス
- ・公共交通ネットワーク、シームレス化など
- ・商業施設、情報施設、ホテル など
- ・空き店舗・低未利用地の管理・活用
- ・まちなかの通りでの歩行者空間確保
- ・歩道や店舗等のバリアフリー化、まちなかサイン等ユニバーサルデザイン など
- ・飲食等の店舗、歴史資源（神社・酒蔵）など
- ・富士山や酒匂川等河岸景観 など
- ・回遊ネットワーク、回遊路整備、クリーンエネルギーの活用 など
- ・情報コンテンツ など
- ・IoTを活用した受発信システム など

- 交通
- 交通
- 商工観光
- 商工観光
- 交通
商工観光
駅利用者
- 商工観光
駅利用者
- 交通
商工観光
駅利用者

駅周辺地区のまちづくりイメージ

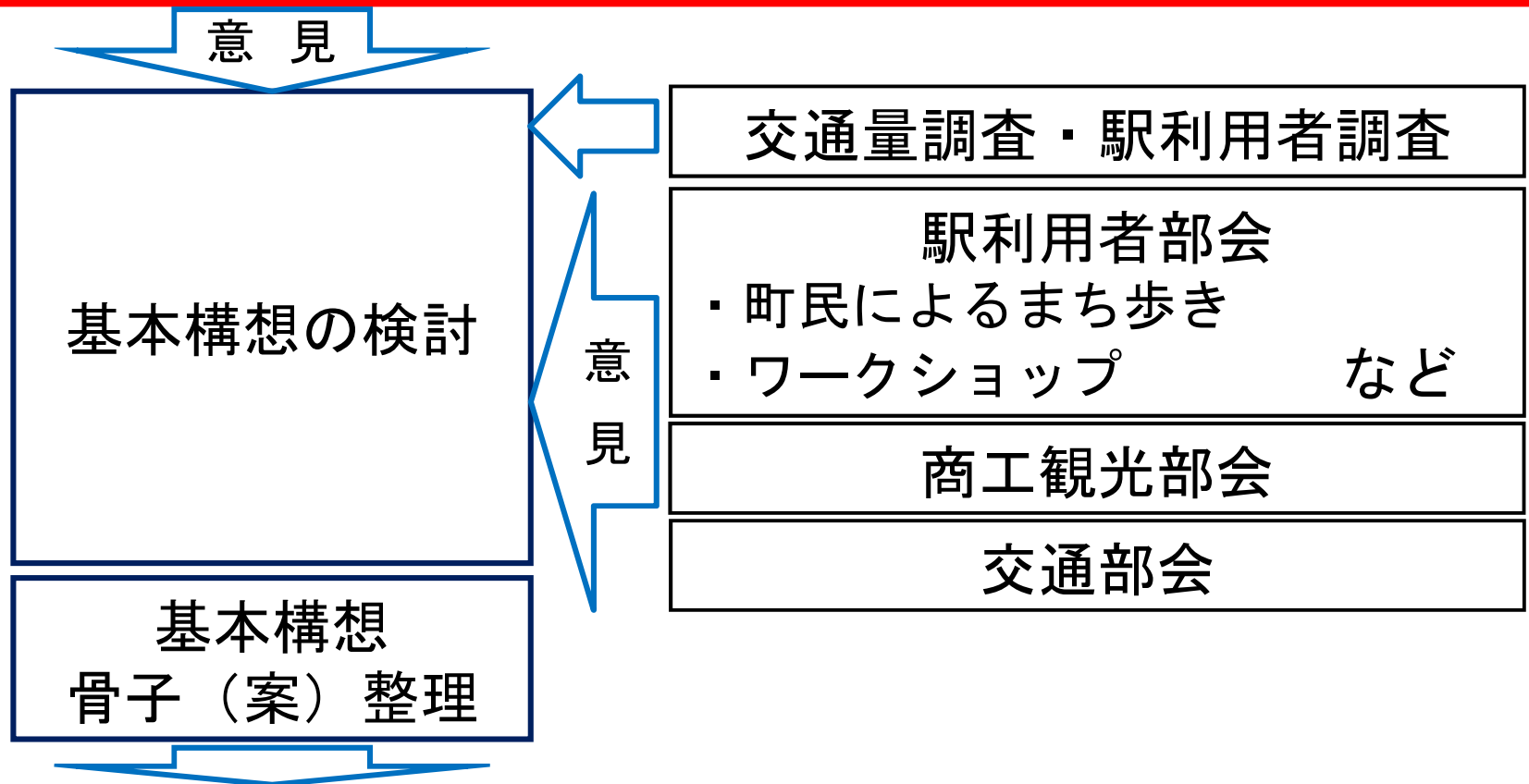


4. 今後の進め方

今後の予定

第2回協議会（本日）

- 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画の策定について



第3回協議会（H29. 2月予定）

- 基本構想骨子（案）について

交通実態調査

1. 交通量調査

調査種類	自動車交通量	歩行者・自転車交通量
調査内容	交差点方向別車種別交通量 (6車種：バス、普通貨物、 タクシー、乗用車、小型 貨物車、自動二輪)	方向別断面交通量 (歩行者・自転車)
調査日時	11月27日(日)、11月29日(火)	
調査時間	12時間(7:00~19:00)	
調査方法	調査員の目視による数取り器を用いたカウント調査	
調査箇所	7箇所	

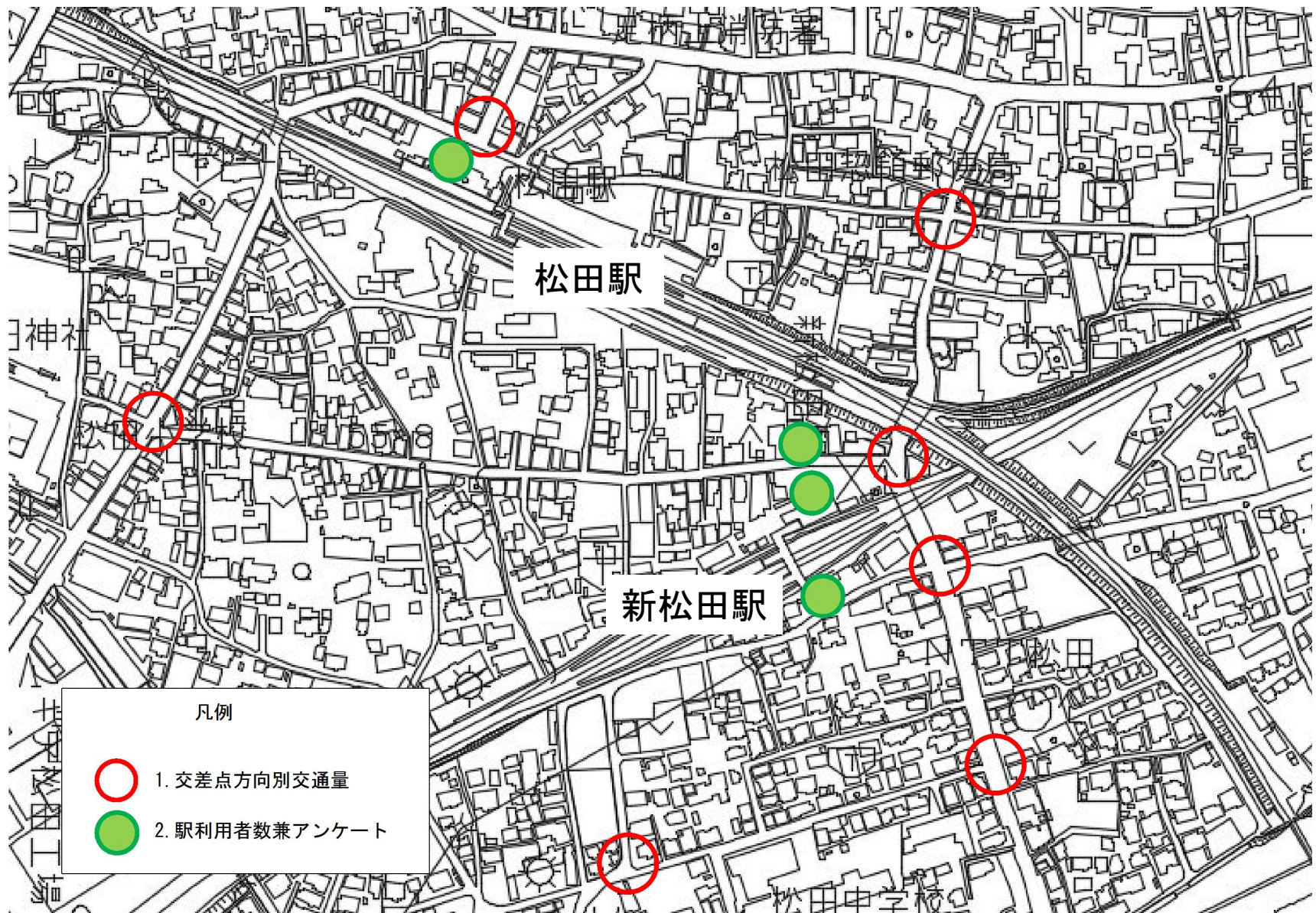
2. 駅端末交通手段別交通量・利用者調査

調査種類	駅前広場流入交通量	交通手段別駅利用者数
調査内容	駅前広場に流入する 車種別交通量	駅前広場に流入する 車種別利用者数 (車種別駅乗降別場所別)
調査日時	11月27日(日)、11月29日(火)	
調査時間	始発(5:00)~終発(1:00)	
調査方法	調査員の目視による数取り器を用いたカウント調査	
調査箇所	4箇所(新松田駅南北口、松田駅南北口)	

駅利用者意向調査

調査種類	駅乗降客に対する利用環境に対するWEBアンケート調査
調査内容	<ul style="list-style-type: none">○利用者属性（年齢、目的、利用時間帯、居住地、駅までの交通手段、利用頻度等）○バスやタクシーについて（利用のしやすさ、問題点）○自動車駐車場について（駐車場所、利用のしやすさ、問題点）○自動車送迎について（利用のしやすさ、問題点）○駅前広場やその周辺の環境について（利用のしやすさ、問題点、整備する上で重視すべき点、必要施設）○まちづくりに必要な機能・施設について
調査日時	11月27日（日）、11月29日（火）
調査時間	12時間（7:00～19:00）
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・アンケート依頼を入れたティッシュを直接配布、WEBによるアンケート（依頼文にアドレス・QRコード表記、町HPにリンク）

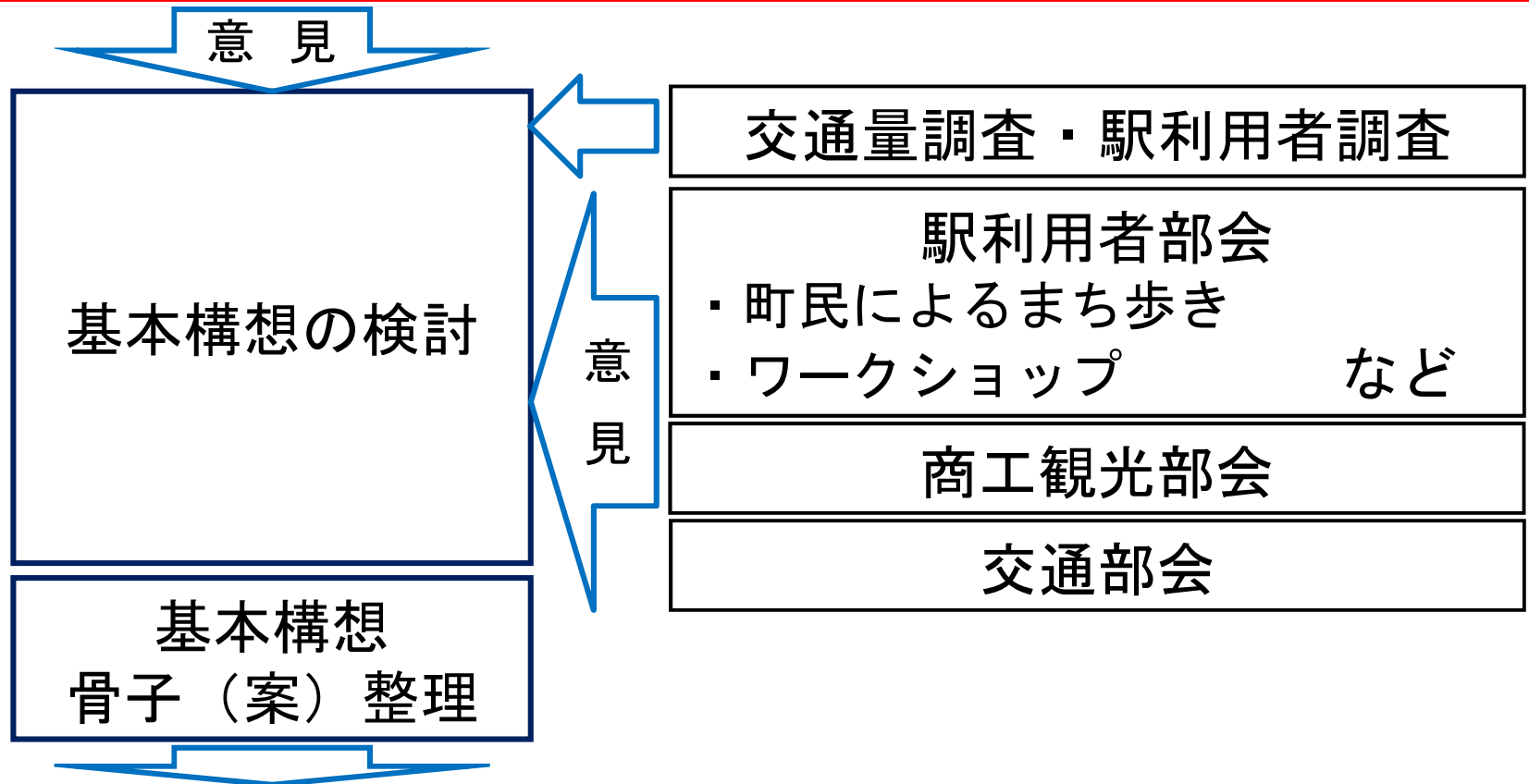
実態調査位置図



今後の予定

第2回協議会（本日）

- 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画の策定について



第3回協議会（H29. 2月予定）

- 基本構想骨子（案）について

駅周辺整備基本構想(骨子)のイメージ

〔まちづくり方針〕

〔検討内容〕

〔主要事業〕

足柄上地区の玄関口 賑わい・活力を生み出すまちづくりの実現

〔駅周辺地区まちづくり将来像〕

